

1 システム化にかかる費用とその効果

システム化にかかる費用の概算は次の通りです。

表 1 システム化にかかる費用

項目	単価 (円)	数量	金額 (円)	備考
Raspberry pi	6,000	3 台	18,000	
USB カメラ	3,000	1 台	3,000	
サーバ用 PC	150,000	1 台	150,000	
位置センサ	3,000	3 台	9,000	
保守・管理費			減価償却期間	
システム開発人件費	20,000	60 日		工数内訳 8 人 × 60 日
合計				

システム化による効果の資産を以下に示します。前提条件として、入場者が本システムの使用が可能な端末を所持しており、動物園がネットワーク管理下にあると想定します。この場合、動物園来場者の増加、動物園来場者の満足度の向上などによるイメージアップが見込まれます。

利益と費用の比較

来場者は、宣伝や広告によってアプリをダウンロードし、アプリの機能を使用することで、野市動物園を効率よく楽しむことができます。

2 本システム提案のアピールポイント

本システム提案におけるアピールポイントについて説明します。

- (1) 動物園来場者に対して、動物園を効率的に楽しんで頂くための AR 搭載型アプリケーションシステムです。現在地や目的地をマップで表示することで、来場者の園内の移動効率を向上させます。
- (2) 本アプリケーションは、英語、中国語に対応しているため、外国人来場者の方でも動物園をお楽しみ頂けます。
- (3) 本アプリケーションでは、動物付近に設置されている web カメラを中継し、園内の動物の様子を閲覧することができます。
- (4) (1),(2),(3) のような多様な機能を実現させることによって、動物園の利用効率の向上を可能にさせます。その結果として来場者の増加や動物園のイメージアップが見込まれます。

3 用語の定義

本提案書では、次の通りに用語を定義します。

- Raspberry Pi: ARM プロセッサを搭載したシングルポートコンピュータ

- AR: Augmented Reality(拡張現実) の略。現実世界の映像に対し、位置情報などのデータや実際に存在しない情報を CG と重ねて表示させる手法。